

製材用原木の需要拡大と安定供給の進捗状況

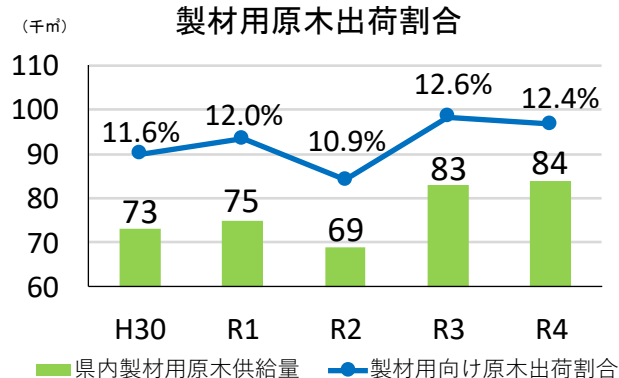
林業課

○令和4年度末の進捗状況

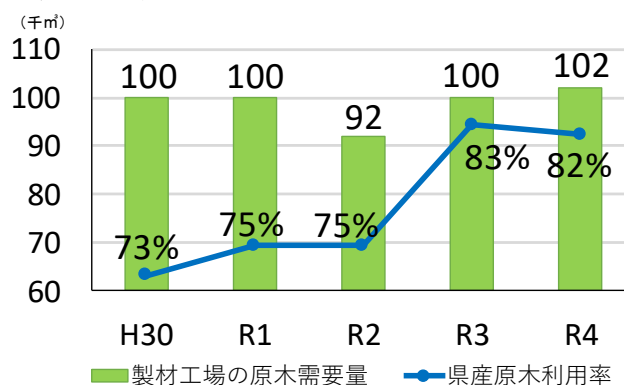
(1) 製材用原木の県内供給量はコロナの影響で一時減少したものの増加、製材用原木の出荷割合(12.4%)は横ばい

(2) 県内の製材用原木需要量は100千 m^3 (H30)から102千 m^3 へ微増。認定工務店・認定建築士制度を推進し、製材用の県産原木利用率は73%(H30)から82%へ増加

原木生産量のうち県内製材原木供給量と
製材用原木出荷割合



製材工場の原木需要量と県産原木利用率



○主な取り組み

- (1) 原木の流通機能強化のため、木材需給情報伝達システムを県内5市場で導入
- (2) 原木市場での仕分け機能強化のため、仕分け機械1台の導入を1市場で実施
(R3年度からの累計：5市場でグラップル5台、フォークリフト3台)
- (3) 木材製品の増産に向けた製材工場の施設整備等をR4：9工場で実施